

JWFファンド2021 支援先 概要

4.雨水貯留容器の設置と少女たちの生計支援(ウガンダ)

- 実施団体:SORAK DEVELOPMENT AGENCY (#002)
- 実施地:ウガンダ Mubende県 Lusalira交易センター
- プロジェクト予算:1,738ドル(JWFファンド1,500ドル、団体138ドル、受益者100ドル)
- 受益者数:5,000人(男性1,000人、女性1,000人、子ども3,000人)
- 実施地の水問題:

ウガンダの農村部に住む人々は、安全でない水や限られた衛生設備、不十分な手洗い習慣により、汚染された水に起因する病気にかかりやすい。人々の多くが基本的な水・衛生設備を利用できず、石けんを使って手を洗うことができていない。ロックダウンが行われ、水と消毒液が不足する中、子どもたちは遠くまで水を探しに歩かなければならない。



安全ではない水源から水を汲む少女たち

- 主な活動内容:トレーニングの対象となる少女20人の選定、雨水貯留容器(容量500リットル)製造及び起業ノウハウに関するトレーニング、10世帯への雨水貯留容器設置、対象地域内での宣伝カーによるプロモーション(手洗いの重要性及びプロジェクト内容、5日間)、水質検査
- 特長(持続性):少女たちが雨水貯留容器の製造及び販売スキルを身につける。